

経営比較分析表（平成28年度決算）

宮城県栗原市 栗原市立若柳病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
70,530	8,581	第2種該当	10:1	

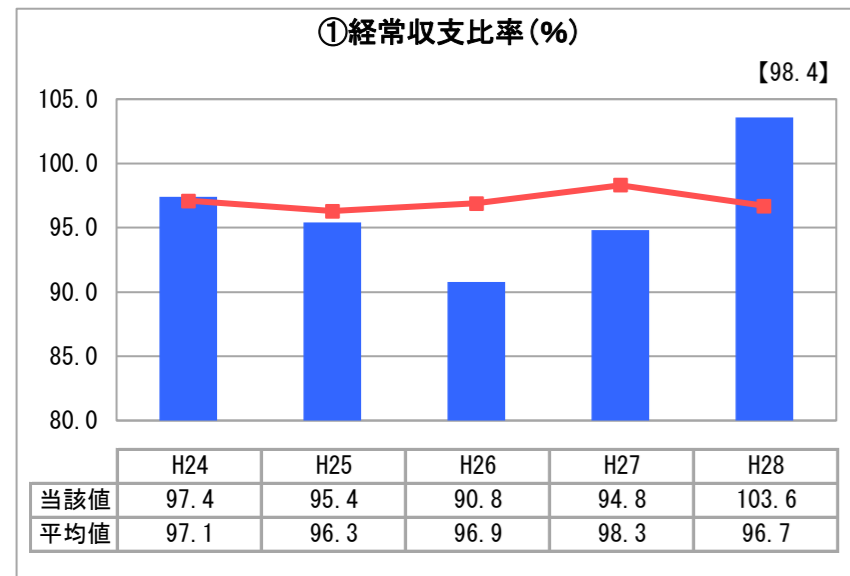
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

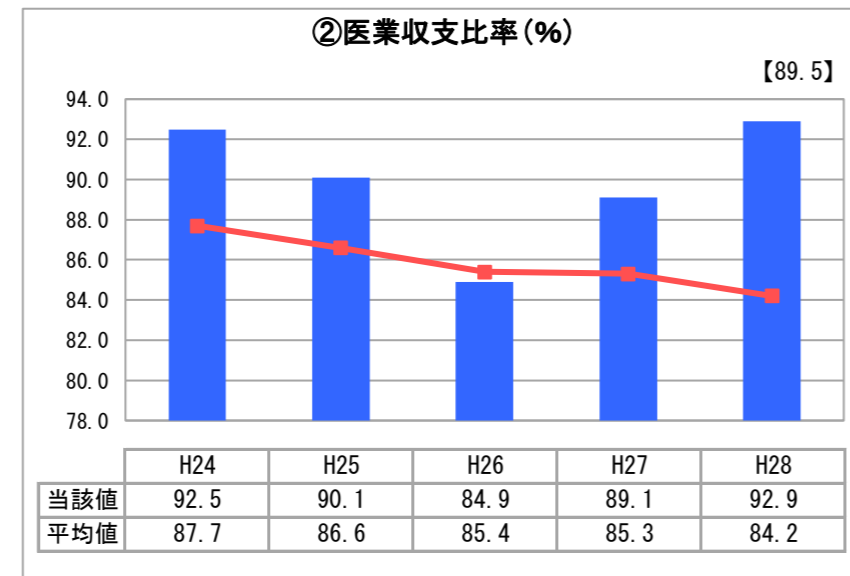
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
90	30	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
88	30	118

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

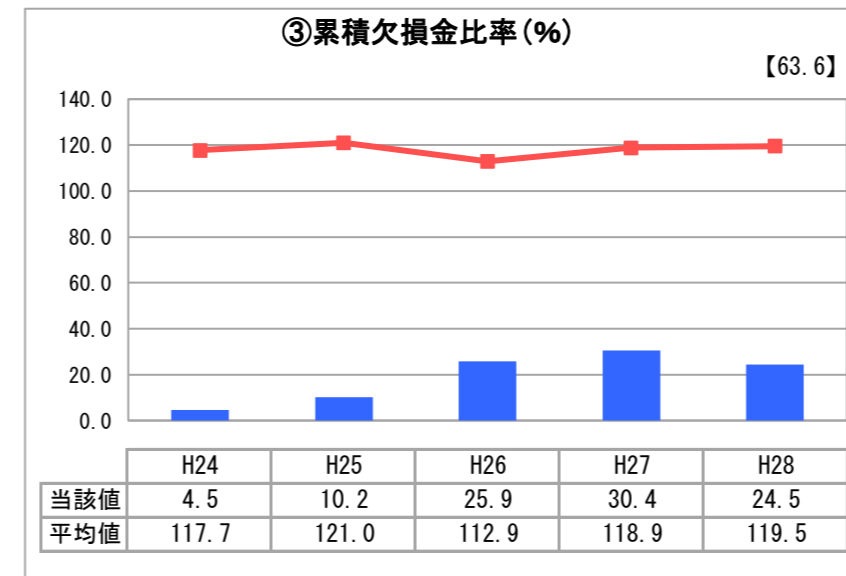
1. 経営の健全性・効率性



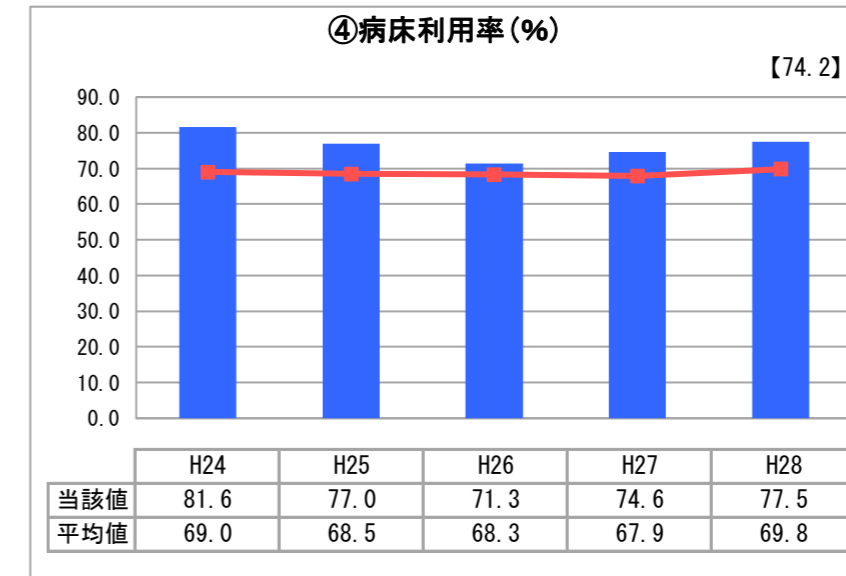
「経常損益」



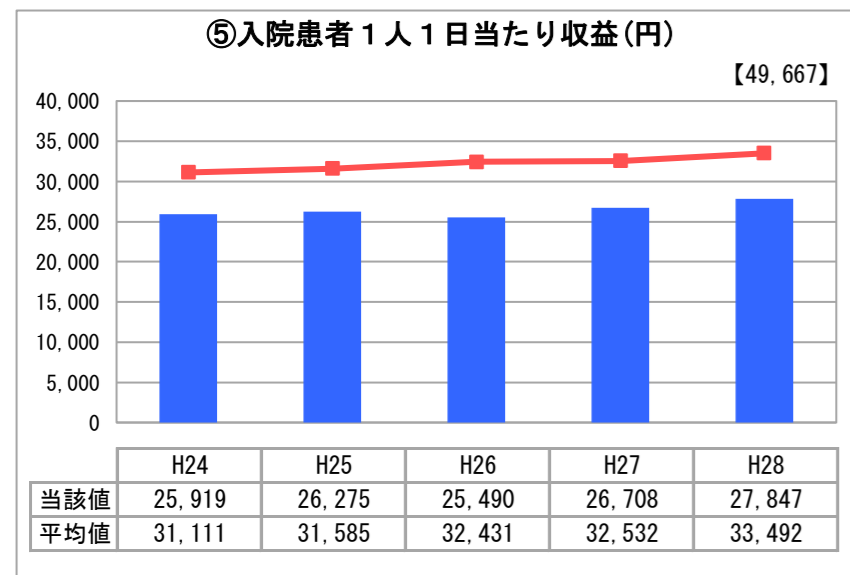
「医業損益」



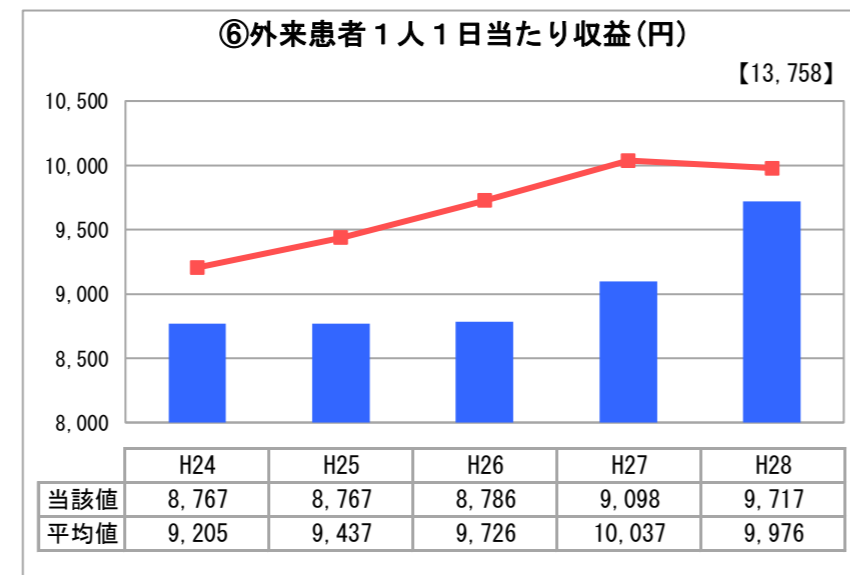
「累積欠損」



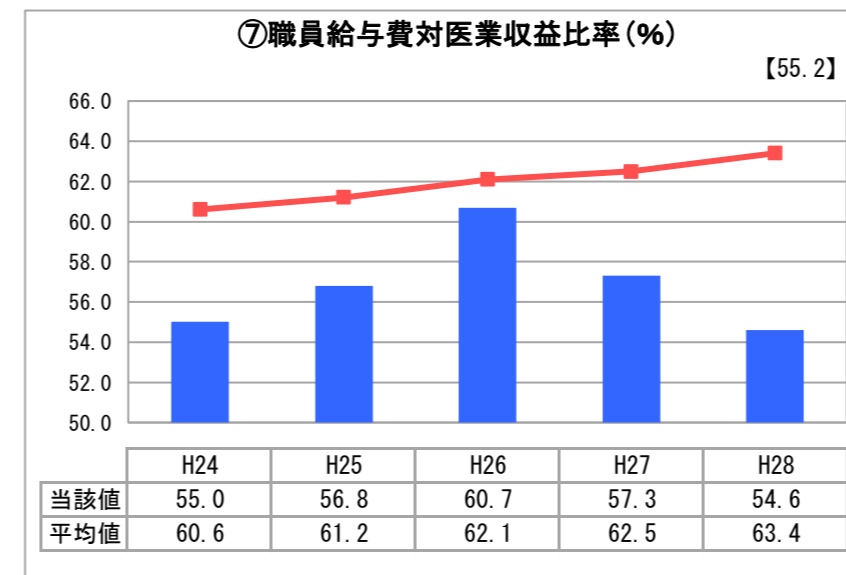
「施設の効率性」



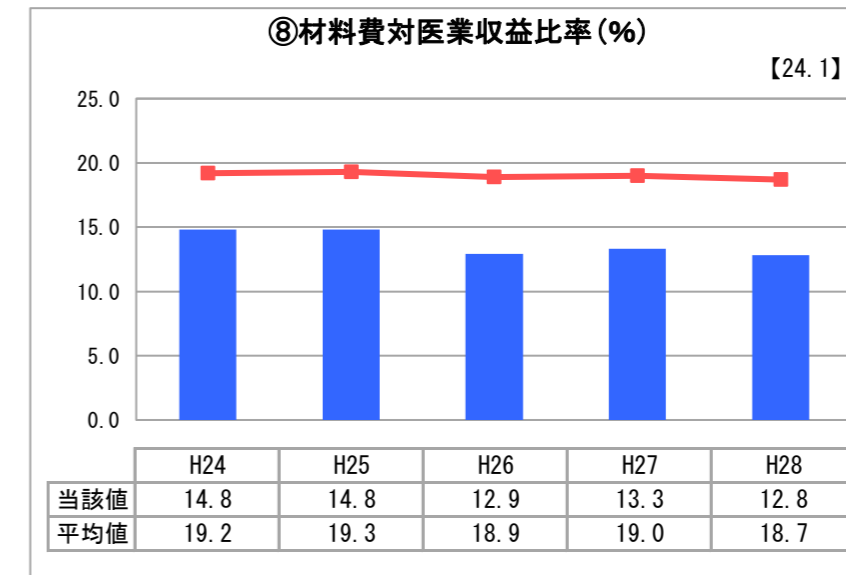
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

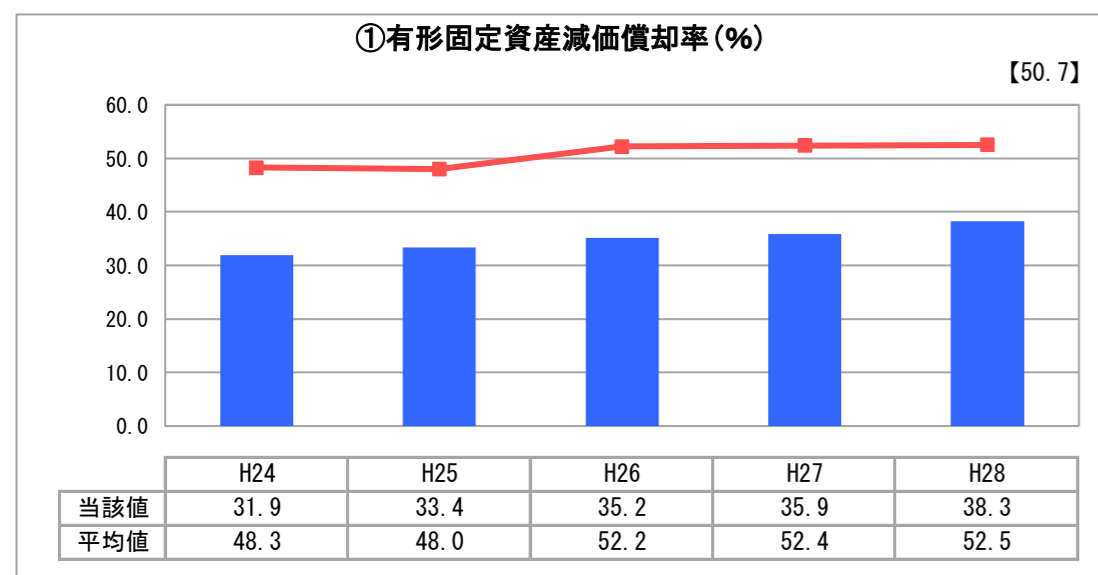


「費用の効率性①」

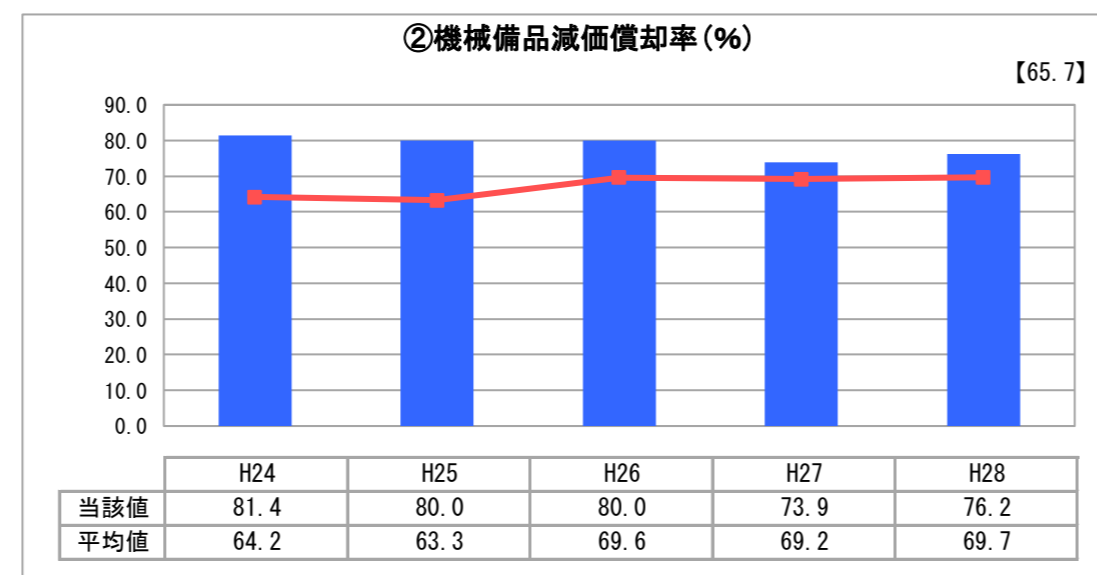


「費用の効率性②」

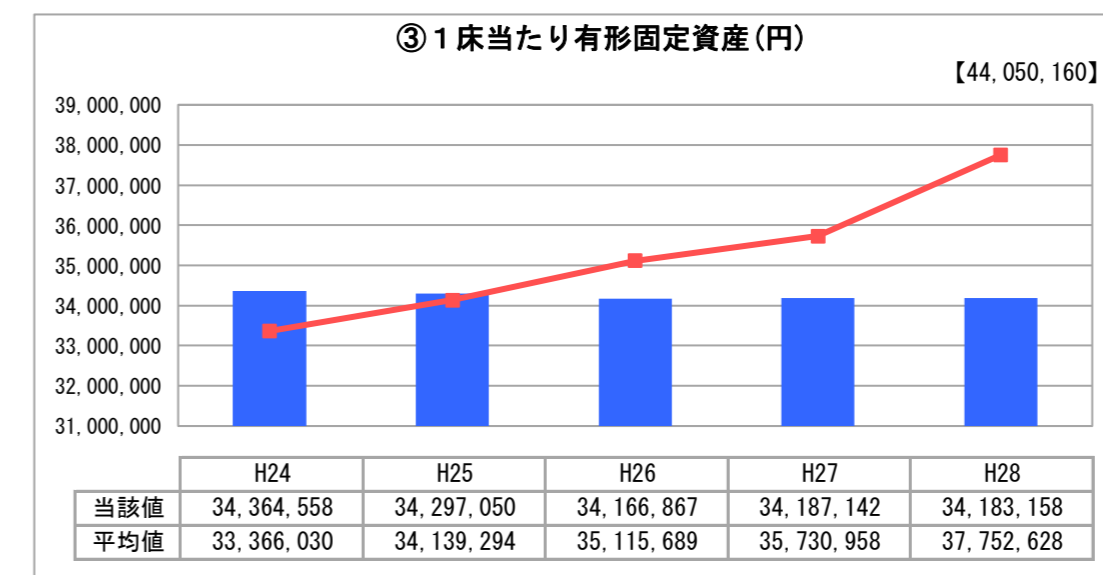
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

初期・慢性期・終末期医療、緩和医療の提供。
在宅療養支援病院として、在宅患者へ在宅医療・訪問看護・居宅介護の提供。
基幹病院からの回復期患者の受入れ施設としての役割。
可能な限りの二次患患への医療の提供。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は70%以上で推移してきており、入院・外来患者の1人1日当たり収益も年々増加してきている。特に平成28年度は診療報酬改定による在宅医療のプラス評価の影響が大きい。
平成28年度は療養病床の利用率向上による入院患者数の増等により、経常収支比率100%超を果たしたが、医師を始めとした職員の不足・高齢化が課題となっている。

2. 老朽化の状況について

病院新築時に購入した医療機器が耐用年数を超え始めている為、将来構想を見据えた医療機器の更新が必要となっている。
病院本体についても、空調設備の定期的な修繕、外壁の補修・修繕が必要となってきている。

全体総括

常勤医師の招へいが喫緊の課題となっている状態が何年も続いている。
医師等医療職の負担軽減を進めるべく、電子カルテ・医療クラークの導入等が必要がある。
地域医療連携室についても、更なる充実が望まれる。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。